

社是をよむ

創業10周年に作成された湖南グループの哲学「社是」を創業70周年を機に読み解きました。

社員から出た意見をもとに、金原社長が経営者としての想いを込めた解釈を記します。
社是自体は会社側から押し付けるものではないというのが共通の理解となりました。

こう在りたいという想いへの共感でそれぞれが自分にあてはめて考え、
湖南グループ全体が今以上のチームになることを願っています。

『使命を自覚し、生きがいをもって仕事に当たる』

全ての生物は使命を持って生まれてきている

ただし、それを自覚できるのは人間だけである

使命、命の使い方を知ることで、人生の営みや方向づけ、全てが変わる
会社で働くことを含む、人生の中での全ての行為に対し、使命を果たすことに使って欲しい

『開拓の精神をもって企業の前進をはかる』

何もないところから始めることが開拓である

新しい可能性を探求し、積極的に企業として成長と発展を追求する
計画性を持ち取り組み、リスクを予測・管理しながら前進をはかることが開拓である

『奉仕の精神によって社会に貢献する』

私利私欲な考えを持つことは間違ったことではない

ただし、これだけではなく利他的な行動もまた必要ではないか
見返りを求めず、より良く尽くそうとする気持ちを持つことで
自分をも含む社会に貢献でき、充実した人生となっていくと考える

『技術の進歩をはかり、信頼される製品を造り出す』

技術力・品質力・提案力・現場力を進歩させることにより、製造業は信頼される
それらは一朝一夕ではなく、日々の積み重ねにより完成に近づくものである

『人格の向上に努め、価値ある人生を生きる』

人格の向上は、喜怒哀楽と私利私欲のコントロールから始まると考える
また、目標を持ってスキルアップに取り組むことも重要
自分以外のためにも行動できるように心を育み、豊かな人生を歩んで欲しい

以上